

様式 2

九州農政局 新技術・新工法 一覧表

1. 番号	2. 工種番号・分類(その1)	3. 工種番号・分類(その2)	4. 新技術の名称	5. 新技術の概要	6. 登録年度	7. 更新年度	8. 組織名(会社名)	9. キーワード(その1)	10. キーワード(その2)	11. 施工実績(件数)					12. 担当者所属・氏名	13. 担当者メールアドレス	
										国営	公団営	県営(H28年度)	団体営(H28年度)	その他公共(H28年度)			民間(H28年度)
	7-2 水路工(暗渠)	16 農村整備	KCフォーム	既設の開水路や道路側溝の暗渠化に用いるGRC(耐アルカリ性ガラス繊維補強セメント)製の埋設型枠。側溝や水路の蓋掛り部に本製品を設置し、その上に配筋・生コンクリート打設・硬化させて鉄筋コンクリート蓋を製作することで、水路内側に支保工することなく暗渠化が可能。構造体(かぶりの一部)として機能することが認められており、本製品を用いた鉄筋コンクリート蓋は、曲げ荷重を受けたとき本製品とコンクリートが一体として機能する。	H29		インフラテック株式会社	10 施工作业効率	17 安全性の向上			7	2	500以上	1500以上	商品戦略課 鶴見 明子	tsurumi-a@infratec.co.jp

記入要領

※記入に当たっては、列数は変更(挿入)しないこと。セルの結合も行わないこと。

- | | |
|-----------------|---|
| 1. 番号 | 記入不要 |
| 2. 工種番号・分類(その1) | 下記の工種分類表を参考にドロップダウンで選択 |
| 3. 工種番号・分類(その2) | 上記「2. 工種番号・分類(その1)」以外に分類する必要がある場合は、ドロップダウンで選択 |
| 4. 新技術の名称 | 名称を記入 |
| 5. 新技術の概要 | 新技術の概要を簡略に記入 |
| 6. 登録年度 | 登録年度を記入する。今回が再提出(更新)の場合、当初年度を記入 |
| 7. 更新年度 | 更新の場合に当該年度を記入 |
| 8. 組織名(会社名) | 組織名、参画社名を表示(複数の場合は全社を記入) |
| 9. キーワード(その1) | 下記のキーワード選択表を参考にドロップダウンで選択 |
| 10. キーワード(その2) | 上記「9. キーワード(その1)」以外に加えるキーワードがある場合は、ドロップダウンで選択 |
| 11. 施工実績 | 項目別に件数のみを記入(※半角で記入) |
| 12. 担当者所属・氏名 | 担当者の所属、氏名を記入 |
| 13. 担当者メールアドレス | 担当者の連絡先のメールアドレスを記入(※メールアドレスはHPには非公開) |

工種分類表

工種番号・分類	備考
1-1 フィルダム	
1-2 コンクリートダム	
2 頭首工	
3 ポンプ場	
4 ほ場整備	
5 農地造成工	
6-1 農道(道路)	
6-2 農道(橋梁)	
6-3 農道(トンネル)	
7-1 水路工(開水路)	
7-2 水路工(暗渠)	シールド工含む
7-3 水路工(水路トンネル)	
7-4 水路工(水路橋)	
7-5 水路工(サイホン)	
8 河川及び排水路工	
9 管水路(バイブライ)工	推進工含む
10 畑かん施設工事	
11 干拓工事・海岸堤防	
12 ため池	
13 ファーム Pond	
14 農地保全	
15 法面保護	
16 農村整備	
17 農業集落排水工	
18 環境保全	
19 水管理施設	
20 ゲート・バルブ	
21 除塵機	
22 土壌改良	
23 公害対策	
24 基礎工	
25 仮設	
26 その他土木工事	
27 その他施設機械	
28 建築	
29 計画・設計技術	
30 測量技術	
31 情報化技術	
32 その他	

キーワード選択表

キーワード
1 農業生産性向上
2 高付加価値型農業
3 生活環境
4 自然環境
5 景観保全
6 生態系保全
7 国土保全
8 コスト削減
9 施設管理
10 施工作业効率
11 施工精度
12 施設の長寿命化
13 機能診断
14 予防保全
15 補修工法
16 災害復旧
17 安全性の向上
18 その他

記入例

1. 番号	2. 工種番号・分類(その1)	3. 工種番号・分類(その2)	4. 新技術の名称	5. 新技術の概要	6. 登録年度	7. 更新年度	8. 組織名(会社名)	9. キーワード(その1)	10. キーワード(その2)	11. 施工実績(件数)					12. 担当者所属・氏名	13. 担当者メールアドレス	
										国営	公団営	県営	団体営	その他公共			民間
	9 管水路(バイブライ)工		ABCバイブライ工法	当技術は、バイブライの管更生手法であり、非開削で通水しながら工事可能。耐久性、施工性にすぐれ、コストも従来の半分程度に抑えられている	H20		㈱ABC	12 施設の長寿命化	13 機能診断			4		4	2		